

# おおたでんき News



イマココ!

太田電機が携わっている工事をご紹介します!

阿久根市役所の改修工事をしています。衛生機器やお客様相談室の空調機など、職員様だけでなく、市役所を訪れる方々にも気持ち良く使用していただけるよう施工しています。

工事中は通行の妨げや騒音などでご迷惑をおかけしないよう細心の注意をしながら行っています。ご理解とご協力をお願い致します。



阿久根市庁舎



太田でんきの「この人」



水道部 岩切 秀一

- ◆資格：1級管工事施工管理技士  
1級配管技能士
- ◆趣味：釣り、You Tube 視聴
- ◆最近嬉しかったこと

お気に入りのTシャツが見つかったこと。ひと夏の間、探しても出てこなかったTシャツが、いつものハンガーラックにちゃんと掛かっていて衝撃を受けた！と同時に見つかって嬉しかった!(^\_^)!

昭和21年の創業以来、地域の方々の安全・快適な生活に貢献し、お客様の「笑顔」を生む『住宅設備の救急隊』として技術を磨き、信頼を積み重ね、皆様のライフラインを支えています。



～高齢者や障がい者(児)のためのほっと笑顔工房～

ケア・リフォーム 暖家だんけ

## ReLife り・らいふ通信

～暮らし・生活・住環境を見つめなおして～

(株)太田電機工業所  
ケア・リフォーム事業部  
(Tel.0996-73-2073)

鹿児島県指定  
福祉用具貸与・特定福祉用具販売事業所  
介護保険事業所番号4670600396

### 「眠りの質は人生の質」

一日の1/3を占める「眠り」「睡眠」が次の一日の体調を決めます。寝ている間に身体及び脳の疲れを休息させ、修復再生させているのです。健やかな心身を維持するためには良質な眠りが必要です。「良い眠り」のためには、軽い読書、音楽、ぬるめの入浴、香り、ストレッチなどが効果的。避けたいのは睡眠前の飲食・喫煙、スマホの映像やゲームなど胃や脳に刺激を与えることです。

また睡眠はベッド・寝具や睡眠環境で大きく違ってきます。毎日の疲れた身体を預ける「居場所」となる寝室や寝具は豊かな心地よい眠りをつくり、明日への活力と希望を生みます。



M様納入と同機種ベッド(楽匠Z)

先日、ベッドを納入させていただきましたM様から、ご購入のお問い合わせがあったのは3年前。その時の御見積書を大切に持っていてくださいました。それまではレンタルのベッドをお使いでしたが、「やっぱりP社のベッドを購入します。」と連絡をいただき、設置にお伺いしました。



「寝心地がとても良くて、ぐっすり眠れるようになりました。」

と笑顔で話されるM様は、80歳を超えても家事など何でもご自分でされ、気持ちよく整頓されたお部屋で過ごされています。年齢を重ねても、3モーター機能付きのベッドで快適に安全に、そして、お元気に過ごしていただきたいですね。これからも真心サポートさせていただきます。



介護保険住宅改修・福祉用具機器のレンタル・販売はおまかせください!

車いす



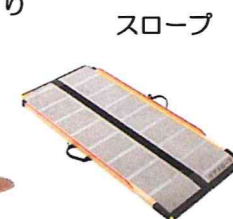
特殊寝台 (介護ベッド)



歩行補助つえ



設置型手すり



スロープ

歩行器



トイレ用フレーム



でんきと水とエアコンの

# (株)太田電機工業所

阿久根市港町65番地4 TEL:0996-73-2800  
出水市大野原町304番地 TEL:0996-63-1966



# 在宅介護における整理収納

## 福祉住環境整備としての整理収納

整理収納はバリアフリー対策、福祉住環境整備の第一歩です。手すりを取り付けても、段差を解消しても、モノが散乱している部屋では、常に転倒の危険性があります。さらに整理収納の状態が自立度、介護度に影響を与えます。取り出しやすい場所に収納されているならば、自力で取れるモノも高い所にあるというだけで、誰かの助けが必要になります。しかし、モノの量を減らすことや衛生面・安全面を考えて、住環境を整えることは大切ですが、まず本人の意向を尊重し、急激な環境の変化とならないことが重要です。

## 高齢者介護の3原則

高齢者介護には ①残存能力の活用 ②自己決定の尊重 ③生活の継続性の3原則があります。これを住環境整備における整理収納にあてはめて考えると、下記のような目的や意味があることがわかります。(例：衣類の引き出し収納)

Before



After



- ①残存能力の活用  
(例) 衣服が見やすく収納されたことで自分で取り出せる。
- ②自己決定の尊重  
(例) 着たい洋服を自分で選ぶ。
- ③生活の継続性  
(例) 実は若い頃はおしゃれが大好き。好きな服でおしゃれをするという、以前の生活行為を取り戻した。

この例のように、引き出しが整理されたことでご本人が自発的に行動するようになり、ADLの改善がみられました。

「REHABILITATION LIFE 暮らしのリノベーション 住宅改修と住環境整備 7つの新常識」より抜粋

バリアフリーは安全・安心な機能を補完する必要最低限の機能であり、その上の「暮らし」「人生」をその人らしく多様多彩に営むための福祉住環境の整備が大切です。

「暮らしのリノベーション」をコンセプトに書かれた本書は、建築士、理学療法士、作業療法士、福祉住環境コーディネーター、整理収納アドバイザー等、専門職が多職種連携によって、介護される当事者の方が「心から望む暮らし」を実現するための、福祉住環境を実践するヒントが満載です。

退院支援の家屋調査や、担当者会議、モニタング等で訪れたクライアント様のお宅は片づいているでしょうか？  
介助スペース、移動のしやすさ、転倒防止のためにも住環境整備において、モノの「整理収納」はとても重要です。



## 整理収納の目的

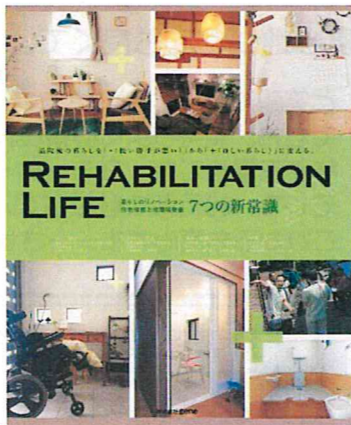
### 3つの効果！

- ①時間  
探し物のための無駄な時間がなくなる。モノが取り出しやすいので、スムーズに作業できる。
- ②経済  
二度買いや買いだめの防止。多すぎるモノの保管のスペースが不要になる。
- ③精神  
ストレス軽減される。片付くと気分や意欲が向上し、コミュニケーションも円滑になる。

さらに

### 福祉住環境の3つの効果！

- ④安全  
つまずきによる転倒予防。地震などの災害時において避難路の確保が可能。
- ⑤衛生  
掃除がしやすいためホコリが溜まりにくく清潔な状態を維持しやすい。
- ⑥ADL  
十分なスペースがとれるので介助や移動、動作がスムーズに行いやすくなる。



住まいが変われば  
生き方が変わる！



ケア・リフォーム 暖家だんけ

(電話 0996-73-2073)

<http://danke-care.com/>

「生きることは喜び！」につながる、安全・安心・快適な日々の暮らしを創ります。支えます。

# みんなの認知症介護をハッピーに♪

暖家シリーズ  
第39回

## ハサミがない！

ハサミって、使いたい時に手元になかったりしませんか？  
私の家はかなりの確率でハサミがなくなります。

ハサミ置き場はちゃんとあるんです。ペン立てにいつもはちゃんと入っているんです。でも、使いたい時にはないんです。

だから、子供たちに聞くんですよ。「ハサミ知らない？」  
そうすると、大体は「知らな〜い」  
でも、ペン立てに入っているのが当たり前だし、最後に見たのはペン立てに入っているハサミだったような気がする。そんな曖昧な記憶を持っている。

私は使っていないし、そしたら、絶対に子供が使っただけで片付けていないに違いない。そう思っちゃいます。

今までも、何度もそんなことがあったから。

そうして探すと、大抵引き出しの中とか戸棚の中とかに置いてあります。

使ったあと、無意識に置きちゃって置いたことを忘れちゃうんですね。

無意識く記憶なので記憶の方が正しいと思ひ込む。



そうすると、自分は正しいと思っているので子供を疑ったり、怒ったり、濡れ衣を着せてしまったり。  
.  
.  
認知症の人も同じです。

病気のせいで歪んでしまった記憶が一番正しいので、あった場所に物が無い。いつものところに物が無い。そんなことをきっかけで被害妄想がひどくなることもあるのです。

「物が無い」が「誰かが盗った」になり「じゃあ隠さなきゃ」と隠し隠したら、隠し場所がわからなくなり「大事なものがなくなっていく」となる。

「〇〇が無い」が頻繁に起こるようになったら隠し始める前に整理収納のアドバイスをしたり貴重品の保管場所やモノの定位置を決め本人も家族も混乱しないよう対策をとっておきましょう。

認知症になっても大丈夫。

認知症があっても大丈夫。



「どんより介護からハッピー介護へもっと楽になる考え方を伝えたい！」

林 炎子 (もえこ) さん

(日本高齢者アタッチメント協会 代表) 看護師で認知症介護歴32年の林炎子さんは、認知症介護に携わってきた経験や知識を一人でも多くの方に知ってほしいと、「目からうろこの認知症セミナー」を開催されています。

<http://ninchishoucare.jp/blog/>

「みんなの認知症介護をハッピーに」は、林炎子さん公式ブログ「家族で支える認知症ケア」より抜粋、参照しています。